

## パヤオ漁業放流調査

\*

当真 武・久保弘文・久貝一成・荻原克敏

### 1. 目的および内容

本県におけるパヤオ(浮魚礁)は昭和57年に始まって以来、沿岸漁業の中で一本釣漁業に次ぐ重要な位置を占めている。そこで、本年度は沖縄島近海のパヤオおよび宮古バンク、トカラ海峡(伊平屋沖)に新たに設置されたパヤオを利用して魚群の移動、滞留期間、い集状況を調査し操業の効率化を図る。キハダ、カツオがパヤオに滞留する期間および回遊状況を明らかにするための基礎資料が得られた。放流されたキハダ404尾、カツオ53尾内、キハダ11尾、カツオ4尾が再捕された。伊良部島北側パヤオ(N25°10'E125°00'付近)で放流されたキハダ244尾のうち9尾が再捕されているが、そのうち5尾は9~18日後に放流された周辺のパヤオで再捕され、3尾が38日~40日後に伊平屋沖パヤオで再捕されている。残る1尾は379日後に、宮城県沖合(N37°24'、E145°10')で再捕されている。糸満7号パヤオ、3号パヤオから放流されたキハダ188尾、カツオ53尾のうちキハダ2尾、カツオ4尾が再捕されている。キハダについては放流された場所のパヤオで18日後と24日後に各々再捕されている。カツオは7号パヤオから放流されたものが22日後に3号パヤオで1尾、17日後に知念東パヤオで1尾、22日後に与那原パヤオで1尾、各々再捕され、そして、15日後に伊平屋島北方(N28°35'E126°39')で1尾再捕されている。

### 2. 調査方法

標識放流調査調査船、くろしお(34.82トン)、図南丸(216.09トン)を使用し、曳縄、流し釣で得られた魚にダート型タグを装着し放流した。

### 3. 結果と考察

図南丸を使用して標識放流した魚種はキハダ266尾、カツオ70尾、シイラ7尾、サワラ5尾であった。再捕状況を表~1示した。航海は昭和62年10月6日~15日、11月7日~11日、昭和63年1月18日~1月27日の3航海である。再捕されたのは総てキハダであった。放流尾数244のうち9尾が再捕されたが、そのうち、5尾が放流近くの周辺パヤオから9~18日後に再捕され、3尾は38日~40日後に伊平屋沖パヤオで再捕されている。残る1尾はさらに北上し、379日後に遠く離れた宮城県沖で再捕されている(図-1)。放流されてから再捕されるまで要した日数は短いので9日、長いので379日である。再捕率: 3.69%。

くろしおを使用した航海は昭和62年4月28日、放流尾数28尾(キハダ14、カツオ14)、5月8日、36尾(カツオ32、キハダ4)、5月20日、17尾(キハダ10、カツオ1)、5月25日~27日、キハダ10尾、7月24日、カツオ1尾、8月20日~21日、17尾(キハダ12、カツオ2)、8月24日~25日、15尾(カツオ3、キハダ12)。計、241尾、内訳: キハダ188尾、カツオ53尾である。そのうち6尾が再捕された(表-2)。再捕率: 2.49%。

\* 長崎大学学生



表一 1、昭和62年度バヤオ漁業放流調査、再捕実績（図南丸）

再捕された魚種名：キハダ、大きさ：シビ

放流数：216、再捕数：9、再捕率：4.16%

| 放流年月日       | 位置（魚礁名）            | 魚礁番号  | 再捕年月日      | 位置（魚礁名）            | 要日数 |
|-------------|--------------------|-------|------------|--------------------|-----|
| 1987. 8. 18 | 伊良部島北方バヤオ          |       | 1988. 9. 1 | N37° 24' E145° 10' | 379 |
| 1987.10. 9  | N25° 31' E125° 41' | No.26 | 1987.11.18 | N27° 20' E127° 10' | 40  |
| 10.10       | N25° 33' E125° 45' | No.24 | 10.28      | N25° 32' E125° 45' | 18  |
| 10.11       | N25° 36' E125° 42' | No.30 | 11.18      | N27° 20' E127° 10' | 38  |
| 10.11       | " " " "            | "     | "          | " " " "            | 38  |
| 11. 9       | N25° 31' E125° 45' | No.24 | 11.20      | N25° 30' E125° 39' | 11  |
| 11. 9       | " " " "            | "     | "          | " " " "            | 11  |
| 11.10       | N25° 30' E125° 39' | No.17 | "          | " " " "            | 10  |
| 1988. 1. 9  | N25° 30' E125° 38' | "     | 1988. 1.28 | N25° 39' E25° 39'  | 9   |

表一 2、昭和62年度バヤオ漁業放流調査、再捕実績（くろしお）

放流数：キハダ188尾、カツオ53尾、計241尾

再捕数：キハダ2尾、カツオ4尾、計6尾

再捕率：2.49%

| 放流年月日     | 位置（魚礁名）            | 再捕年月日     | 位置（魚礁名）            | 大きさ（cm. kg） | 要日数 |
|-----------|--------------------|-----------|--------------------|-------------|-----|
| キハダ       |                    |           |                    |             |     |
| 1987.5. 8 | N25° 47' E127° 28' | 1987.5.25 | 糸満7号バヤオ            | FL 45cm     | 18  |
|           | 糸満7号バヤオ            |           |                    | W 1.63kg    |     |
| 5.20      | N25° 50' E127° 38' | 1987.6.12 | 糸満3号バヤオ            | FL 47.1cm   | 24  |
|           | 糸満3号バヤオ            |           |                    | W 1.97kg    |     |
| カツオ       |                    |           |                    |             |     |
| 1987.4.28 | N25° 47' E127° 28' | 1987.5.19 | N25° 52' E127° 34' | FL 45.3cm   | 22  |
|           | 糸満7号バヤオ            |           | 糸満3号バヤオ            | W 1.36kg    |     |
| 5. 8      | "                  | 5.24      | 知念東バヤオ             | FL 42.9cm   | 17  |
|           |                    |           |                    | W 1.5kg     |     |
|           |                    |           |                    | 胃内容物        |     |
| 5. 8      | "                  | 5.29      | 与那原バヤオ             | キビナゴ112.2g  |     |
|           |                    |           |                    | FL 45cm     | 22  |
| 5. 8      | "                  | 5.22      | N28° 35' E126° 39' | W 1.63kg    |     |
|           |                    |           |                    | W 1.7kg 推定  | 15  |